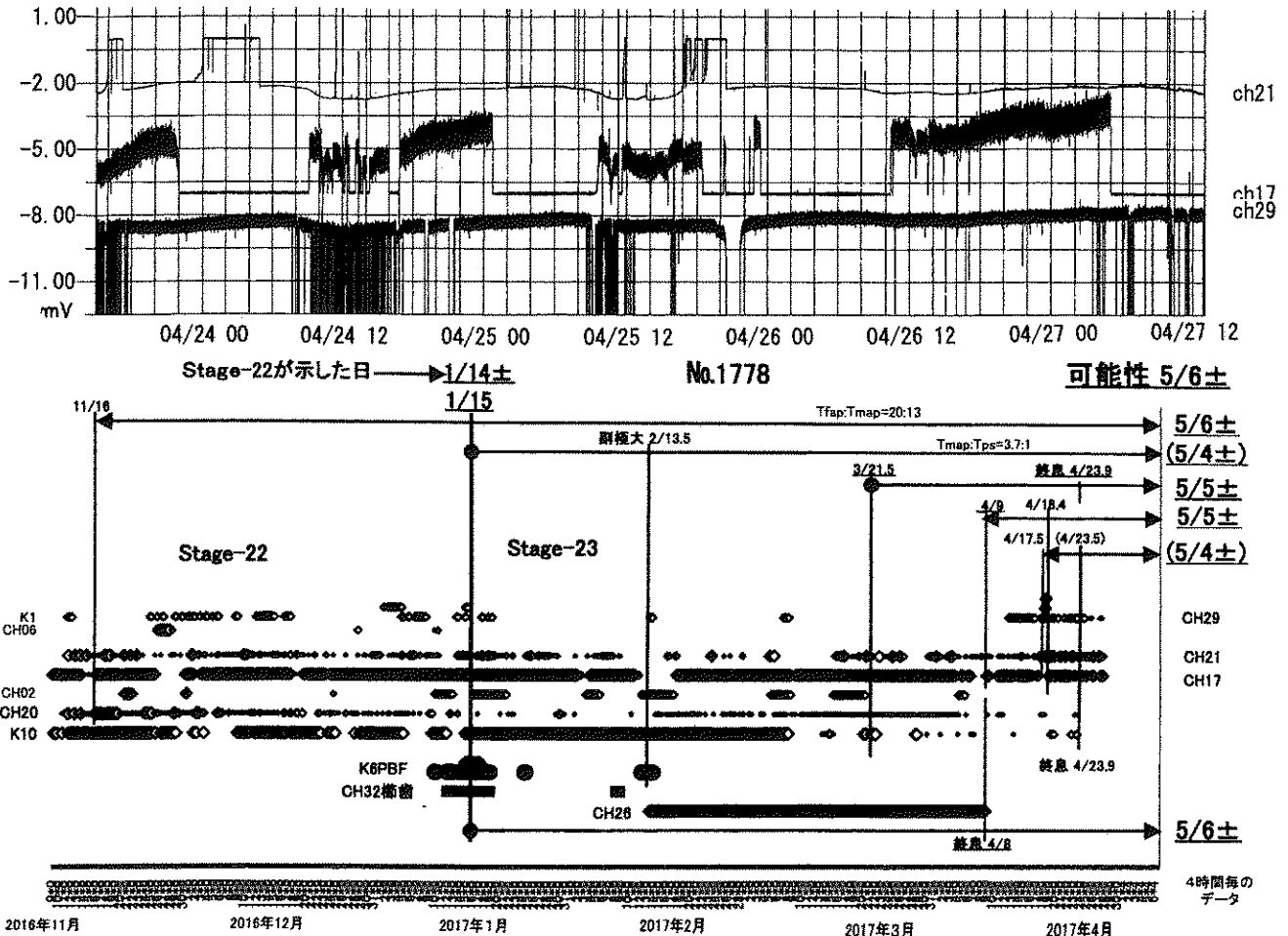


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254  
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続前兆 4/27現在 3モニター前兆継続 早くても 5/6±

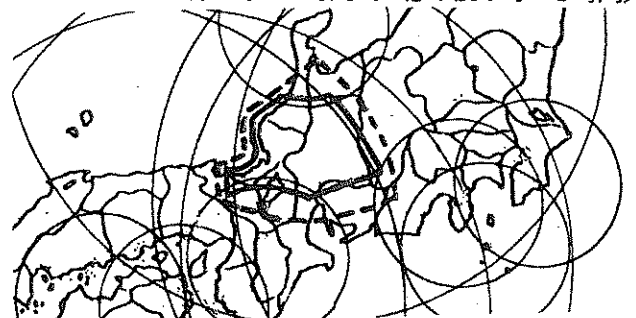


前兆終息確認必要

5/3±前兆終息するか注意して観測

No.1778長期継続特殊前兆続報現況報告です。4/26~27に前兆終息が観測された場合は、4/29±発生の可能性も考えられました。上波形のとおり、4/26にCH29特異が一旦終息した様子が見え、CH17とCH21は4/23にピークが見えるため、4/29の場合でも4/28迄前兆が継続する可能性も有、4/29±の可能性は否定できませんでした。しかし、本日4/27午後現在、上波形のとおり、CH21は4/17.5より継続の糸状特異。CH17も断続的に糸状特異。一旦静穏化に見えたCH29特異も本日午前中より再び特異出現。これらから4/29±の可能性は否定できます。現在までのNo.1778前兆群、第23ステージの前兆関係を見直しました。(上図参照)  
次に早い場合で可能性が考えられる時期は、5月6日±が複数の関係から示唆されます。仮にこの関係認識が正しい場合は

- ◆推定領域: 下図 点線領域内=大枠推定域  
太線領域内=可能性考え易い推定域  
(ある程度火山に近い領域の可能性有)
- ◆推定規模: M7.8 ± 0.5
- ◆推定時期: 5/3 ±前兆終息が観測された場合=5月6日±  
5/4 時点で前兆継続の場合は再考(続報で修正)
- ◇推定地震種: 震源の深さ30km以内の日本列島地殻陸域地震
- ◇推定発生時刻: 午前9時±1時間(又は午後6時±3時間)



- 5/6発生の場合: 4/18.4極大認識に対する前兆終息推定=5/1~2  
(CH29特異)
- 5/6発生の場合: 4/23.5極大認識に対する前兆終息推定=5/3±  
(CH17特異・CH21特異)